

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.155

2018. 9. 3

発行：平和憲法・9条をまもる

岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225

FAX 019-684-2227

<ヒロシマ・ナガサキ原爆投下から73年>

核廃絶・平和の尊さを多くの人に発信していきたい！

— 8 / 3 ~ 6 広島・原水爆禁止世界大会参加報告 —

世界大会では、全国から集まった原水爆禁止の意思を掲げる人達の活動や、世界各国の海外代表の意見、国内の情勢などを聞くことができ、世界規模での関心の高さと核廃絶を望む多くの人の強い思いを実感しました。

4日間の中で特に印象に残っているのが、2日目の平和記念資料館見学でした。資料館見学では、戦争の悲惨さや、原子爆弾の威力と被害、いかに強力な兵器であったかを当時の資料や展示品などから思い知りました。広島・長崎で起こった原子爆弾による悲劇を再び繰り返さない為にも、自分たちの出来ることから、今後も反核運動を行っていき核廃絶・平和の尊さを多くの人に発信していきたいと思います。

(葛巻町職 内藤健太)



右から3番目が内藤さん

「平和とは、憲法を守るとは、核をなくすには」みんなで考えあいました

— 第12回「ピース in 矢巾 夢・まつり」開催 —

8月4日に、いわて生協、医療生協、新婦人等が参加の実行委員会主催で開催。子どもも含め34名の参加でした。

「みんなで歌う会」、小6女子児童による「詩の朗読」に続き、不来方高校から“高校生平和大使”に選ばれた学生をメインに、紫波町在住女性、岩手自治労連書記の3名が、矢巾九条の会の代表をコーディネーターに、「平和と憲法トークセッション」を実施しました。「平和について関心を持ったきっかけ」や「どのようにして仲間に伝えているか」などに



ついて、各々の平和への思いや、家族や友人とのやりとり、行動をして行く上での苦労などもまじえて発言。会場から質問や、意見なども多く出され、活発な会となりました。最後に、平和な社会であり続けるために、3000万署名達成のために、一人ひとり粘り強く頑張っていこう!との言葉で締めくくりました。

参加者からは、「若者が平和についてしっかり考えていることがわかり、頼もしく思った」「有意義な時だった。今後も、平和について繰り返して論じ合いたい」などの感想が出されました。

(矢巾九条の会 高橋秀子)

岩手の3,000万署名数は、16万4千筆

(8/31 現在)

告知

今最も注目の若手論客、白井聡さん講演会開催！

「安倍政治が壊してきたもの！

～この危機を乗り越える市民運動とは～」(仮題)

9月30日(日) 13:30～15:30 岩手教育会館

主催：安倍9条改憲NO!全国市民アクション岩手の会

参加無料

◇参加申し込みは岩手県生協連まで。



「平和こそ宝・憲法九条をまもり生かすために」 — 「中津川九条をまもる会」13周年記念行事開催

6月22日に、参加34人で開催。戦争童話「焼け跡のお菓子の木」DVD鑑賞と、吉永小百合「原爆詩朗読」を行い、平和の大切さを再確認しました。DVDは、あの戦争が子ども目線でどんなものだったのか、悲惨さが伝わったし、原爆詩は、原爆投下時の広島の様子が目に浮かび、経験していなくてもその悲惨さが生々しく伝わり、涙なくして聞けませんでした。



そのあとの交流で、参加者に「戦争を体験している方、いらっしゃるますか？」と問いかけたら、5～6名の方が手を挙げて下さいました。「憲法9条を守る思いで発足した9条の会が13年なんですね。これからの愛しい子孫へと残せるのは平和ではないかを感じる。一度緩むと慣れ？で、戦争をも引き込まれる（おこす）？のではないかと危惧します」「皆で守っていかなければ…戦争を伝えて下さ

る方がいて本当に良かった。忘れない、知ることが守ることにつながっていくと思います」と話してくれました。参加者全員で、平和に対する熱い思いを感じたひと時でした。（本多多津子）

いわさきちひろ生誕 100 年前進座公演

ちひろ～わたし、絵と結婚するの～

11月30日(金)①13:30～ ②18:30～ 岩手県民会館 中ホール

前売券：一般 5,000 円、ペア券 9,000 円（当日：一般 5,500 円、中高大学生 3,000 円）

画家いわさきちひろが描く子どもの絵には、誰もが幾度となく出会い、心癒された記憶があることでしょう。いわさきちひろ生誕 100 年の今年、敗戦直後の 1946 年から 1949 年頃の激動の時代に焦点を当て、なぜ、ちひろが子どもたちのしあわせと平和を願って絵筆を握り続けたのか、ちひろがその生き方を決めた原点を見つめ直します。

前売券は、岩手県生協連ほか各実行委員団体、県民会館、パルクアベニュー・カワトク、アネックスカワトク、フェザン、プラザおでって、ビッグルーフ滝沢、いわて生協店舗で販売。



主催／ちひろ公演を成功させる実行委員会



＝ 朝鮮半島で「平和のプロセス」が始まる、平和の議論に強くなろう

4月南北首脳会談、6月米朝首脳会談と成果を上げる状況に、国際社会と隣国関係国として歓迎すべきことだと思います。少なくとも「平和の協議」が行われている間は戦争の心配はないことは、このコラムで指摘したところです。

「国際社会と隣国関係国」の責務。米朝協議が平和のプロセスとして平和的に進むようその機運を盛り上げることだと思います。ところがその協議は、ここに来て停滞気味とみられています。テーマは「非核化」「朝鮮戦争の終結宣言」である筈なのに、これまでを見ると米側がその要求を押し通すだけの場面に見えます。

対話は、相対する二人が言葉を交わすものである筈。米側も要求を聞き入れ、それを議題に成果を見る協議をする必要があります。それには、これに対する「国際社会と隣国関係国」の意見表明がそろそろ必要ではないでしょうか。

それなのに我が国、安倍政権は「懲りない面々」です。その一員である河野外相がハワイで米軍司令官との会談で、「今は朝鮮戦争の終結宣言を議論する時ではない」と語ったとか。これでは以前このコラムで指摘したように北朝鮮側から「日本は妨害している」とまた批判され、「日朝首脳会談の実現」などとても叶うものではないと思います。

戦争は是か非か。「平和の議論」に強い、「国民的議論」を発展させる必要があるのではないのでしょうか。それが安倍政権に対する「効き目のある国民的な薬」になると思います。（T）

9月の署名活動は 7日(金)12:15～12:45

今回は全国市民アクション「一斉署名行動週間」呼びかけに合わせ、安倍9条改憲NO!全国市民アクション岩手の会との合同開催です。**盛岡では、「大通・野村證券前」「肴町アーケード入口前」「クロステラス前」の3か所で実施。**お誘い合わせの上、ぜひご参加下さい！